

選挙区		7区			
氏名		白土幸仁	秋山文和	佐久間みのる	
年齢		41	67	74	
所属団体		自民党	共産党	無所属	
現・新		現 1期	新	新	
教育		<ul style="list-style-type: none"> ・学校耐震化の完了と、教員の質の向上により、県内教育環境の充実 ・学校、PTA、地域の協力による学校安全ネットワークの構築※229 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から自主防災組織が活動するシステムづくりを行い、わがまち防犯隊により劇的な治安向上がなされたような防災に対しての仕組みづくりができればと考え※57 			

災害		
----	--	--

--	--	--	--

公共事業	<p>・県内には24路線225駅ありますが、その中で自由通路がなく、さらに駅の近くに踏切もないため入場券を購入する以外に反対口に出ることができない駅は、2路線以上が交差するターミナル駅の中では春日部駅しかありません。私は、このような状況を一刻も早く改善する必要があると考えます。※32</p> <p>・特に働く男性に絞って平成23年の同調査の詳細を見てみますと通勤時間が69分と、一時間を超えております。有業者の男性の負担が著しい状況でございます。やはり通勤、通学の約4割を担っているのは公共交通機関であることから、通勤、通学時間の時短を図る解決策は、公共交通機関の輸送力の増強と高速化が何よりも重要でございます。地下鉄7号線、また、地下鉄8号線の延伸といった公共交通機関の改善が有効だと考えます。</p> <p>県民にとって大きな負担となっている長い通勤、通学時間について、今後主にどのような対策を考えているのでしょうか。また、鉄道の延伸はもちろんですが、東京への高速路線バス路線の開設については、短期間での実現も可能かと考えます。※33</p> <p>・2020年に開催される東京オリンピックにおいて、本県では射撃、ゴルフ、サッカーが開催される予定となっております。私はこの好機を捉え、県内で開催されるこの3競技に関しては何らかのスポーツ振興を図り、東京オリンピック・パラリンピックを更に盛り上げていく必要があると考えます。</p> <p>是非これを機に、サッカー王国埼玉の復権のために、本県にサッカーナショナルトレーニングセンターの誘致、新設を行ってはいかがでしょうか。これは提案ですが、廃校となった県立高校の跡地等を利用し、建設することで県有地の有効利用にもつながりますし、設置した暁にはこの施設を利用しようとする多くの人を県内外から呼び込むことができるものと考えます。</p> <p>・会之堀川、新方川の整備により、周辺道路の冠水の解消 ・各地区の雨水ポンプの増強により、雨水の強制排水 ・ドブ川の再生で、清流を復活し水辺の活用と治水力アップ ・エコまちづくり計画の推進(春日部、武里、南桜井えき) ・公共施設を緑化し、街の保水力アップと地球にやさしい埼玉へ※</p>		
------	---	--	--

福祉 障がい者					
------------	--	--	--	--	--

福祉 高齢者						
-----------	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

医療	<ul style="list-style-type: none"> ・所在不明児に関しては確実に0(ゼロ)人にしていく必要があると考えます。人員と労力と時間をかけて、地道に確認作業を続けるしかこの問題を解決する手だてはないと考えます。※30 ・これは東京都の消防庁が実施しているトライージでございます。現場到着してから緊急性が認められる、もしくは緊急性が認められないものに関して基準を設けてトライージを行って、緊急性が認められないものは傷病者の同意を得て、緊急相談センターに了承をいただきながら、同意をいただきながら、自己通院を行っていただいております。こういった基準を設けたトライージに関しまして、是非埼玉県でも実施をしていただきたいと考えます。埼玉県においては、大人の緊急電話相談いわゆる「大人版 8000」を本年10月に開始しますが、これは緊急通報において自己通院を促すトライージを補完するものとなると考えます。※31 ・健康長寿日本一や県立大学に医学部設置を目指す本県にとっては、医療機器・医療用ロボット産業の振興はその環境整備の一つとして重要な施策であると考えます。※56 ・各種ワクチンや子ども医療費助成など、命に関わる市町村格差を解消 ・小児科や産科、婦人科医師の確保と、不妊治療への助成拡大※230 ・NOと言わない救命救急医療体制の確保 ・医療を支える人材の育成と確保に努め、人口比医師数ワースト1からの脱却 ・県東部の拠点病院として春日部市立病院の再整備を全面バックアップ ・国民健康保険の運営を市町村から県へ移管し、持続可能な保険制度へ ・がん対策基本条例の制定と春日部市立病院をがんの拠点病院に 			
----	--	--	--	--

町おこし		<p>・観光振興、観光づくりは地域の雇用、経済を支えることとなり、地域社会へ貢献することにもつながります。県内外はもとより海外からの観光客が増加することで県内経済が発展し、観光による経済的効果の利益を享受することができるようにすることが、今後の本県の観光行政にとって必要なことであると考えます。</p> <p>この旅行ガイドブックに既に掲載されている旅館や観光地への聞き取り調査や直接出版元にコンタクトをとるなどあらゆる方法を駆使し、この世界一の旅行ガイドブックに埼玉県が記載されるように努力をしていただく必要があると考えます。</p> <p>まずは初めの第一歩、ガイドブックにおいて日本での旅行先の中の選択肢に入るというスタートラインに是非とも埼玉県が立っていただきたいと考えます※150</p>			
その他					

出典

※31 埼玉県議会 平成26年6月定例会

救急搬送時間の短縮について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606->

※32 埼玉県議会 平成26年6月定例会

春日部駅付近連続立体交差事業について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606->

※33 埼玉県議会 平成26年6月定例会

県民の通勤、通学時間の短縮について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606->

※56 埼玉県議会 平成25年6月定例会

医療機器・医療用ロボット産業の振興について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2506->

※57 埼玉県議会 平成25年6月定例会

「わがまち防犯隊」を参考に自主防災組織の支援充実を

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2506->

※150 埼玉県議会 平成26年6月定例会

観光行政について～外国人観光客の誘致～

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606->

※229 白土幸仁ホームページ

政策

<http://www007.upp.so-net.ne.jp/shirato/seisaku.html>

※230 白土幸仁ホームページ

政策

<http://www008.upp.so-net.ne.jp/shirato/seisaku.html>

※231 白土幸仁ホームページ

政策

<http://www009.upp.so-net.ne.jp/shirato/seisaku.html>

※232 白土幸仁ホームページ

政策

<http://www010.upp.so-net.ne.jp/shirato/seisaku.html>

ごんもり幸男	
	43
公明党	
現 1期	
<p>・当事者の教員や学校が対外的に知られ、評価が悪くなることを気にして何とか自力で解決しようとしてしまいがちです。その結果、初動の対応が遅れがちになり、問題の解決までさらに時間を要してしまう。何か問題が起こったときに周囲の評価を気にせず、相談できる環境づくりが必要であるとの意見がありました。この話を聞いて、設置以来3年が経過し、まだ学校問題解決支援チームが十分に周知されていないのではないかと感じました また、学校問題解決支援チームを生かしていくにはもっと利用しやすい環境づくりが急務であると考えます※46</p>	
<p>・大災害発生の初動期の対応として、地域の救護所や避難所となる防災拠点校に応急医療のできる体制を整えておくべきであると申し上げたいのです。※28</p> <p>・食料の備蓄も大事ですが、食べた後のトイレの確保が課題となることは歴史の教訓です。私は、今こそ県立学校の敷地内に合併処理浄化槽を埋設すべきだと訴えたいのです。※29</p> <p>・被災者の方には犬や猫を飼っているので、子供の学校を変わりたくない、自宅にできるだけ近いところにといった理由で、公営住宅に移りづらい方々もおられます。応急仮設住宅として民間借り上げ住宅を供与できれば、こうした方々のニーズに応えることができます。※41</p>	

・竜巻のような自然災害は行政の境界に沿って起きるものではありません。隣町だからといって受けられる支援が異なるという事態は被災者にとって納得できるものではありません。被災者生活再建支援法の適用について、市町村という枠を撤廃するように県として国に働き掛けるべきと考えます※42

・本県としても国の制度を補完する独自の支援策を検討すべきと考えます。現在、国の制度を補完または上乗せする取り組みとして、全国で30の都道府県において独自の被災者生活再建のための支援制度を設けております。今回の竜巻被害を契機として、本県としても国の制度を補完する独自の被災者生活再建支援制度の創設を図るべきではないかと考えます※43

今後、早急に竜巻対応マニュアルを作る方針であると伺っておりますが、今回の竜巻被害で明らかになった課題を受け止め、地域防災計画の風水害対策編を見直すべきと考えます※44

・県が指定した災害時の医療関係の重要施設は、災害拠点病院など18病院と4つの県立病院、一つの血液センターであります。指定されていない医療機関や福祉施設は対象になっておりません。対象以外の医療機関などについては、自助努力に任せる姿勢で本当によいのでしょうか。特に、人工透析などを行っている医療機関や高齢者を抱える福祉施設への燃料確保については、県としても今後の対応について検討していくべきと考えます※89

- ・ゲリラ豪雨対策を強化します。
- ・大規模災害への備えと地震対策を強化します。
- ・避難所の拡充と、福祉避難所の整備を促進します。※170

・私は、かねてから春日部市内の浸水被害を解消するためには、河川の整備を行う県と下水道の整備を行う市が協力して対策を講じることが必要であると考えており、大いに期待しているところであります。※27

・

・愛知県は、障害者グループホームの確保が重要であることから、既存住宅の有効活用を図るための協議会を立ち上げました。その結果、取扱要綱を策定し、十分な防火・避難対策などを講じた場合、地上2階、延べ床面積200平方メートル未満の既存住宅については、取扱いを住宅のままで建築基準法上の寄宿舍への用途変更の手続を要しないこととし、防火間仕切り壁の設置などを不要とする取扱いを平成26年4月1日から開始しました。また、福島県、鳥取県でも同様な対応がされております。

本県においてもそうした視点から、既存住宅を活用した障害者グループホームを設置しやすくするための対応を行うべきと考えます※24

・国土交通省は、乗降客数10万人以上の駅への設置を優先的に求めており、県も今年度からホームドア設置に向けた調査費の補助を川越駅と朝霞台駅を対象に実施したところであります。本県内にはこの2駅だけでなく、乗降客数10万人以上の駅だけでも13駅あり、乗降客数の多い駅はほかにもたくさんあります。ホームドア設置を急がなければならないと考えます※47

・ホームの安全対策としては、先に述べたホームドアが一番効果的ではありますが、多額な費用がかかるため、事前の対策として早急を実施すべきと考えるのが、この内方線付き点状ブロックです。本県も内方線付き点状ブロックの整備に向けて鉄道事業者向けの補助を今年度から開始したところですが、今後も一層の整備促進を図っていくべきと考えます。※48

・障がい者の就労支援対策を推進します。※175

・徘徊などによる行方不明者を早期に発見し保護していくためには、地方自治体が情報を共有し、連携を強化すべきであります。中でも都道府県は、市町村を結ぶ重要な役割を果たすべきと考えます。※22

・志木市では去る5月28日、認知症徘徊者への声掛け方法などを具体的に実践する「命のひと声」訓練が宗岡団地内で行われました。
志木市で行ったような模擬訓練のノウハウを県内市町村に紹介し、安心して過ごせる地域づくりを県内に広めるべきと考えます※23

・介護を必要とする期間とその内容は個々により違い、育児に比べて先が見えにくいのが特徴ですが、介護をしながら無理なく働き続けることができる職場環境を整備していく必要があります。例えば企業が家族の介護をしている従業員に残業を極力させない仕組みやフレックスタイム、さらには在宅勤務などを推進するなど、柔軟に対応できる余地は幾らでもあると思います。※25

・介護職員の人材獲得には、介護に対する中高・大学生など、若い世代の関心を高めることが急務と考えます。中学生を対象に「魅力発見！彩のしごと探訪事業」として、県内中学生向けキャリア教育用のDVDを作成すると聞いております。そのDVDでは8業種を紹介するとのことですが、介護分野を盛り込んではいかがでしょうか。産業労働部作成のDVDは中学生対象ですが、高校2年生にも見てもらったらいかがでしょうか。高校2年生は、自らの進路を考える大切なときでもあります。有効と考えます。
高校生の介護現場の体験学習です。県立上尾橘高校では、5日間の介護現場での体験学習を行っております。私のもとに高校を卒業したら介護で働きたいと言ってきた高校生もいました。高校生の体験学習は介護現場のすばらしさを知る機会となります。一層積極的に体験学習を進めるべきと考えます※45

・確かに、介護職は大変な仕事かもしれません。しかし、それだけに介護職はとても大切なやりがいのあるプロフェッショナルな仕事であります。今、現場で働いておられる介護職の方々が日々誇りを持って仕事に臨めるように、さらにはより志のある人たちが介護の世界を目指してもらうためには、介護職のイメージアップを図っていく必要があります。もちろん、収入をはじめとした待遇改善は不可欠な課題ですが、それには大きな財源と制度改正が必要となります。しかし、介護職のイメージアップは、その気になればすぐに取り組むことが可能です。知事を先頭に、県として介護職のイメージアップにぜひとも取り組むべきと考えます※84

県として介護職のイメージアップにぜひとも取り組むべきと考えます※84

・県として埼玉県国民健康保険団体連合会に対して、介護給付費の支払日を数日間早めることを提案すべきと考えます※85

・本県では、たんの吸引研修を今年度中に2期募集するとなっておりますが、1期目の募集人員は80名と大変少なく、2期目が行われても160名しか受講することができません。介護事業者からは、「たんの吸引を受ける方が非常に増えており、施設も訪問でもたんの吸引の必要に迫られている。たんの吸引の研修を従業員に早く受講させたいが、募集定員の枠が少なく、申し込んでも順番がいつ回ってくるかわからない。研修チャンスをもっと広げてほしい」といった切実な声をいただきました。県は、研修の行える委託先を早急に増やすなど、たんの吸引の研修チャンスを拡充すべきと考えます※86

・最近では、40代や50代の若年孤独死も増えてきております。そこで、障害者なども含めて月に1回の見守り事業の対象を見直すべきと考えます※90

・さまざまな見守りにより、入居者の安否があやしいなと思われた際、その次の対応をどうするか、現状では合い鍵がないため、不審な状況があっても中に入れません。どうしてもというときは、身内や警察官立ち会いの下、窓や玄関の鍵を壊して入る方法しかないのです。そこで、希望される方については、入居者の鍵を何らかの方法で預かって、万が一の不測の事態に備えられるようにすべきと考えます※91

・認知症などによる行方不明者への対策を強化します。※174

・日本整形外科学会によりますとロコモの認知度は36.1パーセントで、認知度が90パーセント以上のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）、通称メタボの3分の1という低い状況です。まずは県民の方々にロコモに対する理解を深めてもらうことが重要と考えます。積極的に啓発活動をすべきと考えます。
健康長寿日本一を目指す本県だからこそ、今後はこのせいわハピネスロコモ体操も参考にしてロコトレを県内に普及すべきと考えます※26

- ・「ドクターヘリ」の24時間体制を再構築します。
- ・小児救急電話相談【#8000】の回線増設を更に推進します。
- ・小児救急医療、周産期医療のさらなる充実を推進します。※172
- ・地域包括ケアシステムの構築に向け、市と一体となって促進します。※173

・小規模事業者に特化した支援制度の創設をめざします。
「空き家」問題への対応を強化します。
・若者と女性の活躍による地域活性化を推進します。
地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを推進します。※175

・里親登録証があれば、何かあったときの対応が簡便になります。また、里親登録証は里親自身の励みや里親制度の啓発にもなります。予算措置がなくてもできる里親支援策の一つです。本県において、大分県の例に倣って持ち運びに便利な名刺サイズの里親登録証を早急に発行すべきと考えます※87

・里子がいつ、どの医療機関にかかった場合でも、スムーズに受診ができるように各医療機関に対して里子の受診券の周知徹底を図るべきと考えます
受診券を先ほど申し上げました里親登録証のように名刺サイズにしてはいかがでしょうか。現行の受診券は、縦13センチ掛ける横9センチの大きさと使い勝手が悪いです。ちなみに、東京都では既に名刺サイズにしたそうです。里子の受診券も名刺サイズにすべきと考えます※88

・さらなる殺処分数の減少を目指して、参考にすべきと考えるのが高崎市の取り組みです。
安易な引取りには応じない、小さな命を守る献身的な努力に殺処分数を劇的に減らすことができました。私は、本県の動物愛護行政担当者のご努力を大変評価するものですが、この説得による引き取りの抑制にも、ぜひ力を入れるべきと考えます。※92

・通学路の安全対策と地域防犯対策を推進します。
・危険ドラッグ撲滅対策を強力に推進します。※171

※22 埼玉県議会 平成26年6月定例会

行方不明者への対応について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606-h011.html>

※23 埼玉県議会 平成26年6月定例会

安心して過ごせる地域づくりについて

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606-h012.html>

※24 埼玉県議会 埼玉県議会 平成26年6月定例会

既存住宅の活用について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606-h021.html>

※25 埼玉県議会 平成26年6月定例会

在宅介護をされている方への支援策について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606-h030.html>

※26 埼玉県議会 平成26年6月定例会

「ロコモ」について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606-h050.html>

※27 埼玉県議会 平成26年6月定例会

河川・下水道の一体的整備の推進について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606-h080.html>

※28 埼玉県議会 平成26年6月定例会

可搬型の災害用医療資材・救急医療セットを防災拠点校に備えておくことについて

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606-h061.html>

※29 埼玉県議会 平成26年6月定例会

県立学校の敷地に浄化槽を埋設することについて

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2606-h063.html>

※41 埼玉県議会 平成25年9月定例会

竜巻被害 被災者への支援について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2509-k011.html>

※42 埼玉県議会 平成25年9月定例会

竜巻被害 被災者への支援について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2509-k011.html>

※43 埼玉県議会 平成25年9月定例会

竜巻被害 被災者への支援について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2509-k011.html>

※44 埼玉県議会 平成25年9月定例会

地域防災計画の見直しについて

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2509-k012.html>

※45 埼玉県議会 平成25年9月定例会

介護人材確保策について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2509-k020.html>

※46 埼玉県議会 平成25年9月定例会

学校問題解決支援チームについて

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2509-k030.html>

※47 埼玉県議会 平成25年9月定例会

駅ホームにおける視覚障がい者の安全対策 ホームドアの設置について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2509-k051.html>

※48 埼玉県議会 平成25年9月定例会

内方線付き点状ブロックの整備について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2509-k052.html>

※84 埼玉県議会 平成24年9月定例会

介護職のイメージアップについて

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2409-i011.html>

※85 埼玉県議会 平成24年9月定例会

介護給付費等の支払日について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2409-i012.html>

※86 埼玉県議会 平成24年9月定例会

介護職員等によるたんの吸引等の研修の拡充について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2409-i013.html>

※87 埼玉県議会 平成24年9月定例会

里親登録証の発行について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2409-i021.html>

※88 埼玉県議会 平成24年9月定例会

里子の受診券について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2409-i022.html>

※89 埼玉県議会 平成24年9月定例会

大規模災害時の医療機関・福祉施設の燃料確保について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2409-i030.html>

※90 埼玉県議会 平成24年9月定例会

高齢者等の見守りにについて

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2409-i041.html>

※91 埼玉県議会 平成24年9月定例会

安否確認後の対応について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2409-i042.html>

※92 埼玉県議会 平成24年9月定例会

「犬・猫の殺処分ゼロを目指して」について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou-h2409-i050.html>

※170 ごんもり幸男ホームページ

政策

<http://gonmori.com/vision.html>

※171 ごんもり幸男ホームページ
政策

<http://gonmori.com/vision.html>

※172 ごんもり幸男ホームページ
政策

<http://gonmori.com/vision.html>

※173 ごんもり幸男ホームページ
政策

<http://gonmori.com/vision.html>

※174 ごんもり幸男ホームページ
政策

<http://gonmori.com/vision.html>

※175 ごんもり幸男ホームページ
政策

<http://gonmori.com/vision.html>